

【平成22年度下期】

概 要 公 表

区分	概 要	原 因	改善・対応策
レ ベ ル 3	<p>栄養管理目的で埋込型 CV カテーテル留置術を実施したが、カテーテルの先端が血管内に留置されていなかったため、施行した点滴液が胸腔内に流入し、胸水として貯留した。</p> <p>(CV カテーテル留置後、点滴施行前に2度、胸部 X-P でカテーテルの先端位置の確認等を行ったが、その際に異常は発見できなかった。)</p> <p><措置> 胸腔の中にチューブを挿入して、貯留した胸水を排出した。</p>	<p>術中の操作ミスにより、カテーテル先端が血管内に留置されていなかった。</p>	<p>今回使用したカテーテルは、挿入後、血液を逆流させて血管内に留置されていることが確認できない製品であったため、今後、確認が可能な製品に変更するなど、より一層の安全確保に努める。</p>